京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●澤田局長の演說(二)

▲新任日本人主事に對して

諸君が地方に出でゝ分擔する事務の種類は上官の指示する所なれば茲に之を知り難しと雖も諸君は分擔事務の外進んで法令の加除訂正に從事し事件の發生に應じ直に處理し得るの素地を作るを要す元來法令の加除訂正は頗る煩瑣にして手數を要すること夥しきものなれば吏員の僅少なる地方廳に於ては完全に之を爲すの遑なかりしならん諸君は其勞を厭はず研究的頭腦を以て自ら奮て之に當るべし今や人民に法令を周知せしむるは最も其必要を感ずるの時に際し地方廳に勤務する者が法令を暗んぜずして人民に周知せしめんとするは啻に困難にあらず(?)や勿論地方廳に於ては法令の立案なきは中央官廳に於けるよりも少かるべしと雖も法令に根據を有せざる處分は極めて少なきを以て法令の悉知は常に必要なることを忘るべからず

(ロ)法令の外執務上重要なる軌範となるものは先例なく法令は多く普通の場合を規定したるものなれば特殊の事件に遭遇する時は忽ち處置に困難を感ずることあり、殊に法令の不完備なる韓國に於ては一層先例に依るの必要あり現在諸官衙に於て教科書上の智識は不十分なるも先例に通曉するの故を以て重要視せらるゝ官吏あるは畢竟此の必要に基くものなり先例を記憶することは實に教科書に依りて得たる智識と相併て尊重すべきものなり新に制度を樹て或は法令を變更する等の場合に於ては先例の必要を感ずること少しと雖も事務を處理する上には極めて必要なり或る事件の發生に際し據るべき法文なきの理由を以て之を拋擲すべきにあらず必ずや適當の處置を爲さゞる可からず此場合に於て種々の先例を記憶に存するときは多くは判斷を惑らずして適宜の處置を爲し得るの便あり上級官廳の訓令指令通牒回答等にして先例となるべきものは勿論殊に自己の參與したる事務にして其大事件なりしもの又は研究事項なりしものは能く之を記憶し場合に依りては記憶に便にする爲め備忘錄を設け之を坐右に備ふるも一の便法ならん

●第三 地方の事情を知悉する事、諸君は既に韓語を學びたれば韓國の事情を知る上に於て彼の通譯を介して研究する者に比すれば幾層の便宜を有するを以て常に其事情を知悉することを怠るべからず而して地方に在勤せるは其機會極めて多かるべく僅少の勞を以て其の得る所頗る大なるものあるべきを信ず殊に地方廳の旅費も本年度よりは增額したるを以て郡より面洞の下級行政區畫に至るまで各方面に出張し民情風俗習慣等を視察すべし地方に於ては慣習が一の制度となり恰も法令同樣の效力を有すること少からず故に此の慣習に反したる法令は容易に實行を期し難きを以て若し中央政府の發令が民情に反し又は慣習に背き實行し難しと認めたる時は之を上官に具申すべし現行法令にして民情に適合せざる爲め事實上無效に歸し居るもの一二に止まらざるべし此邊の事は諸君の爲め趣味ある研究題目なりと思はる

將來地方費法の發布に伴ひ地方の事業は次第に發展すべし地方費は之を一に財團とし其地方限りの事業を國庫の力を籍らずして經營するものなれば負擔力の多き地方の事業は著しく進捗すべきを信ず然れども物に本末の差あり事に緩急の別あるを以て其計畫の順序を過るべからず例ば道路、學校衛生等の事業も其何れを先にし何れを後にすべきかは之を地方の民情に照らし其宜しきに從て施設せざる可らず地方廳に於て自ら計畫し施設したる事業に有ては地方廳は其全責任を負擔せざる可らず勿論事業の計畫は上官の考案に依るべしと雖も之を補佐し遺算なからしむるは諸君の任なり又施行の細目に至るまで上官は之を知悉するものにあらざるを以て諸君は其細目に渉り地方の狀況を斟酌し理論に奔らず民情に背かず能く其中を得て適當に事業の成績を擧ぐる爲め平素に於て能く其地方の實情を研究すべし(つゞく)

(新刊紹介)

●銃獵界 「ルーズベルト氏の猛獸狩りの行を送る」「銃獵」「狐の話」「沖繩の銃獵」等は本誌の重要記事なり(五巻三號十錢橫濱本町金丸銃砲店)

●月報 市況、貿易、商況、物價、金融、資料の六項に分ち二月二十六日より三月廿五日迄の景況統計等を揭げたるものなり(五號仁川日本人商業會議所)

●實業の世界 社說「吾徒は斷じて桂內閣の金權政治に反對す」は議論警拔立說剴切讀者をして不覺讀過せしむ次に大隈伯の「先輩と青年とは如何して調和すべきか」は觀察明透敍述精到再讀の價あり(六巻四號十錢東京芝三島町三田商業研究會)

●明治評論 評論、研究、文藝、雜錄の四欄に分ち何れも各名士及び文士の意見評論を載せあり就中文藝欄に於ける「文士の生命は何故に短かきか」の揭題の下に各文士の觀察を揭げしは確かに異彩ある讀物なり(十二巻四號十五錢東京神田駿河臺明治大學構內明治評論社)



佐倉宗吾 (四十七)

眞龍齋貞水講演

夫から大和は叔父の川越掃部を先きに御戻し申し、自分は宗五郎を同道して、御自分の御小屋へ入らせられまして 大「ア苦しくないから此方へ」と仰せになる、有難いので宗十郎は淚にくれて、恐る〳〵大和樣の御側へ出でまする 大「これや是ほどの願入りまする 大「幾重にも此大和が、取計ひ書面では、一同の辛苦の有樣、察するぞ得させするぞ、唯今予は湯付を致す、汝に於 宗「ハア、有難き仕合に存じます 大「御先でも、是から共に湯付を致せ 宗「へー、有代加賀守樣御時代には、御仁政で、百姓泰難き其御言葉なれさ、私一人が御湯付を頂平樂を論ひしが、今日に至て、この難義を致いたし、滿腹仕りましても、他の者共差出すと云ふには、餘程の困難と相見ゆるは今朝より、食事も致さず御門前に取詰め其方共の胸中察するぞ 宗「へー、有難き仕合ひ御願ひの趣、如何ならんと心配いたし居り台に存じまする 大「これや宗五郎、この願ひまする、私一人、御湯付を頂戴いたすより書の面のみにては、委細の事も承知いたし早く御採り上げ下されたる、貴下樣の御情兼る、遠慮に及ばぬ、御幽裘の運上御取立ての稅を、一同に知らせて、安堵いたさせの模樣、よく詳しく述べよ 宗「恐れ入り奉り度ぞんじまする、情けある大和殿は、宗五る」と、そこで宗五郎が、錫、鐵、天秤棒の申し上げた一言に御感心あそばし 大「の運上、桶樽の事、二割增の運上が何う然らば其方共、何處に止宿いたし居るか 宗箇年と成りし事、夫から再度將門に騷動ハイ、餘り騷立ち參りましては、殿樣御耻の起り一條を述べ來り 宗「そこで私、是非[illegible]、下谷、[illegible]、[illegible]町、本

なく將門へ押し[illegible]、一同[illegible]所此上は江戶表へ罷訴に及び、二割增の運上御取立の儀を、御免願はんと、更に土神の森に、一同寄合いたし、此儀御聽屆け下さらぬに於ては、活きて再び故鄉の土は踏まぬ迄での心仕り、既に是迄で罷り出でたる儀にございまする、何卒御情けを以ちまして此儀御採り上げ下し置かれますれば、佐倉城附六萬石、住ゐする御領分の百姓一同、難有り奉るでござる」と、既に離儀を其身に引受けたる、宗吾の鐵石心、面に表はれ、堀田大和の胸中に貫徹いたしたれば、御弱いけれども御仁心厚き御方、ハラ〳〵と落淚致し『ア、宗五郎、其方の胸中察するぞ 宗「ハ、ハアーッ、恐れ

深川と、二ノ三づゝ止宿し居りまするが、今朝觀音樣に御心願ありとして、淺草觀音の境內にて、一同待合せ、御當家門前へ罷り越しました次第でござる 大「左樣か、それにては、大分費用も嵩むであらうから麻布古川の御屋敷に二棟程の御長屋が空いて居る其處へ一同を引取り出入町人に申付け夜具蒲團その他食物迄打任せたならば多少は費用も減する譯であるから左樣いたしたが宜からう、併し總代なる名主六名は、馬喰町邊に止宿いたせ、折々喚出すに依て、其首尾を伺つて宜からう、此儀は如何ちやな 宗「何事から何事まで、有難き思召にてございます、左樣いたしますれば、二百六十九箇村の者へ、軒別に費用を割當

てまするにも、何程も掛らず、此上もなき幸ひでございます 大「左樣なれば、其事を取計つて遣はす、現に角其方は、身共と共に、湯付を食べよ」宗五郎は有難淚にくれて、御飯を頂き兼て居りますと 大「決して一同の事は案ずるに及ばぬぞよ、唯今門前に詰へたる大勢の者にも、御湯付の手當に及びしに依て、其方も安心して喫べよ 宗「ホ、ホウーッ、恐れ入り奉る 大「何人が左腹になるのも、皆な同じ事である」と仰せられた時に、宗五郎は、御年齢は弱いが、御評判の大和樣に、あの川越樣の御二方が斯くまで御勢り下さるとは、誠に有難き仕合と、恐る恐る大和樣の御前で、御湯付を頂戴いたし、ア、是ならば願ひが成就するであらうと、心の內で思ひました

(現今ノ佐倉町)

伊藤公最高理想

京城新報

頃者中央公論の伊藤公最後の光明なる一文を讀む、伊藤公を以て最高理想を有する大政事家となし、韓國の保護統治に於ける施設の公明正大なるを頌賛して頻に其政策を謳歌せり、人心の異る十面十心とは夫れ異なる哉、世には現時の統監政治を以て機宜に適せるものとなし大に嘆美する中央公論記者の如きものあり、伊藤公の政治的生命の尚ほ幾分存する所以も茲にあるべき乎。伊藤公自らは或は豊太閤以上を氣取るやも知れず其當否は姑らく史實として貽すの外なきも公が大政事家たることは何人も承認せざるを得ざるべし云々と、余輩は伊藤公の幸運児たるを知る、臨機應變主義にして才子肌なる政事家たるを知る、外に豪懐を裝はず割合に内甚だ小心なるを知る、實行よりも踏行に苦心するを知る、踏行の華麗なるに反して實績を擧げ得ざる政事家たるを知る、勲爵より云へば全く人臣を極めたる大勲位公爵たるを知る、然れども余輩は未だ最高の理想を有する大政事家なりと認むる能はず、勲爵の高きを以て大政事家の標準とすれば或は然らむ、列國に氣燄するを以て最高の理想を有するものとせば或は然らむ、余輩の見解を以てすれば最高の理想を有すると共に之を實行するの大手腕を有するものにして始て大政事家たる也、然るに伊藤公は其踏行には巧なれども總局の實蹟を擧るの人に非ず、公が從來の事蹟に徴すれば何人と雖も之を諷認するに難らず公論記者は亦曰く伊藤公が統監として韓國に臨むや一に韓國の君臣を啓發して文明の治澤に浴せしむるを主義とせり日本は韓國を保護國とし我が自衞生の干城たらしむる外何等の野心なしとし此大主義より宮中府中の別を正し宮廷を粛清し政府の基礎を鞏固にするため豫算制度を立て法律を制定して裁判制度を擁成し學校を設けて智能を啓發し衞生のため病院を建て産業を奬勵する爲に交通の便を開きたり其一半は既に緒に就き一半は將さに實行せられんとす云々、斯の如きとは別に伊藤公が最高なる理想を有する大政事家たるを證するに足らず、若し夫れ眞の大政事家たらば尚ほ是以上の施設あるべき筈也、韓國を保護國とし我自衞上の干城たらしむる外何等野心なしとするは何人が統監たるも斯く聲明するの外なし若し帝國の國是を遂行するに熱心なる政事家ならば其間に於て帝國の大陸政策に重きを置かざる可らず、宮中の粛清豫算制度法律の制度學校の設置病院の建築交通の便を開く等は伊藤公に非ずと雖も何人が統監となるも施設すべき事也、而も伊藤公は此等の施設をなすこと既に三年有餘に亘るも未だ見るべき事績擧らず、其擧げ得て見るべきものは宮中の粛清に過ぎず、其一半は既に緒に付き一半は將さに實行せられんとすと云ふが如きは未だ實際を知らざるの臆測論のみ、如何に最高の理想を有するとも實績を擧げ得ざるものは大政事家と云ふ可らず、況や最高の理想もなく唯々臨機應變主義を以て華麗なる踏行政策のみに焦慮する政治家は大政事家として嘆美する價値なし論者の言へるが如く姑らく成敗の迹を論せず、其目的主義にして公明ならば之を頌賛すべしとせば、宗教家を以て統監となすも可なりとせん、政事家は目的主義の公明なるよりも實行力に富まざる可らず、伊藤公の統監政治は其輪廓の結構のみにて實質に於て大なる缺乏あり、花のみ咲きて果實なきの樹木と一般なり、故に公が最後の光明となるべき理想の實現は容易に來らず、若し夫れ公にして眞に最後の光明を現はさんとすれば從來の政策を一變して思ひ切て統監政治の上に英斷を下さざる可らず、余輩は久しく此光明に接せんことを切に望むものなり。

外報一束

▲爆裂彈密輸入　高崎丸は福州に於て清國革命黨の爲に爆裂彈密輸入を企てたりとの説あり

▲安奉線協定困難　安奉線改築協議兩國委員は同鐵道用敷地として最小限説を持し居る由にて其意見に依れば一等停車場と雖も附屬地十萬坪を以て足るとし全線附屬地總面積僅に三百八十万坪に過ぎずして鐵道經營の困難なるのみならず清國は同鐵道の警察及び兵備は清國之を行はんとする意見にて同線改築協定には多少の困難あらんといふものあり

▲露國議會激論　露國議會にては頗る激烈なる討議あり獨逸國並に佛國軍隊に攻撃を加へたり

▲比島總督辭職　比律賓總督スミス氏は辭表を提出せりとの報あり其原因に就ては當局者より何等の説明を與へざるも或消息通の語る所によれば總督の辭職は關税改正問題と聯絡するなきかといふ比律賓に輸入する砂糖及び烟草に對するペイン關税改正法案の方針が該嶋發展上に不利なりとする反對説は遂に總督に對する批難となり爲めに大統領タフト氏と衝突を惹起せしものと信ぜらる

▲印度軍司令官　印度陸軍省長官サー・オームーア、クリーア大將はキッチナー將軍に代りて印度軍總司令官に任ぜらるべし又キッチナー將軍に現職辭任後遠からず日本を訪問すべし

▲米國の新造艦　最近の調査によれば米國海軍にて目下建造中の新艦左の如し
戰艦サウスカロリナ、ミシカンデラウエヤ、ハウスダコダ、フロリダ、ユータ右の外建造中のものは驅逐艦十五隻、潜水艦の建造なきは特に注意すべき現象なり

雜報

●二法令公布　國税未勘金整理に關する件（法律）及臨時國税未勘金整理委員令規則（勅令）は四月五日付を以て公布されたり

●韓海漁業と清民　韓國に於ける漁業法は本月一日より實施することゝなりたるが右法律の實施と共に從來韓國沿海に於て漁業に從事しつゝありたるが清國漁業者は漁業を禁止さるゝことゝなるを以て我が政府に於ては出來得べき丈け斯かる不都合の事の生ぜざる樣清國政府に注意を促がしたるも實施期日に至るも我國と漁業條約を締結すべき提議をなさゞりし故本月一日より清國民の漁業を禁止する結果を生ずるに至りたりと云ふ

●鑛業税未納者調査　鑛業權又は未墾地貸下或は砂鑛採取の權利を得たるものにて之れが税金を納めざる者は随分多額に上りし由にて其の筋にては目下調査中なりと云ふ

●韓國水産調査誌　各道水産調査の爲め昨年二月より十一月に至り農商工部及統監府、朝鮮海水産組合の各技術者十七人をして郡村島嶼に至る迄の水産現狀及將來の經營等に付治ねく調査せしめたる結果各復命書は農商工部に於て經費二万四千圓を投し韓國水産調査誌として印刷配布する筈なるに依り水産局の一部に調査員及び編纂係を設け專ら其編纂に從事せしめつゝありしが此程一編の編纂及印刷を終り不日之れを公に配布する趣にて紙數千餘頁にわたる大冊にして韓國漁業の參考材料としては最も有益なるものなりと尚ほ二編、三編、四編も目下編纂中にて順次印刷に付する由にて其紙數は三千頁以上の大部なりといふ

●東拓株主總會株券　東洋拓殖株式會社にて來五月二十二日東京に於て株主總會を開催すべき由は既報せしが株劵は總會前に一般株主に配付する事とし此れが印刷は日本大藏省印刷局に於て既に出來し井上理事携帶歸社すべしと云ふ

●李容九歸京と歡迎　昨紙所報の如く一進會長李容九氏は兩三日中に統監を訪ひ本月十五日東京を出發歸京の途に就くべきに付き侍天教徒（一進會員）は李の歡迎方法に就き寄り〳〵凝議しつゝありと

●貨幣發行高週報　第一銀行韓國總支店に於ける去月二十八日より本月三日迄の貨幣高左の如し

第一銀行券總發行中均高	九、〇四〇、三〇〇圓
内 正貨準備發行額	三、〇五一、四〇〇
保證準備發行額	五、九八八、九〇〇
銀行券中均手許有高	七四六、六二四
銀行券市場平均流通高	八、二九三、六七六
硬貨發行高（四月三日現在）	四、二四九、四四〇
内 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
金貨五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六四七、五〇〇
同 廿錢	七三九、五〇〇
同 十錢	三九三、〇〇〇
白銅貨五錢	八二六、七〇〇
青銅貨一錢	一三二、七〇〇
同 五厘	六一、〇四〇

紳士録出版の趣意

韓半島の社會的狀態は今尚は混沌たり、社會の舊組織破壞せられて新組織將さに成らんとするの時代なり、所謂破壞と建設との過渡時代なり、故に半島國民も在留外國人も皆此渦中を脱する能はず、從て各個人の信用程度を判別することと容易ならず、之が爲に總ての取引に於て圓滑を缺くの例決して乏しからず、弊社は茲に見る所ありて紳士録の編纂を企てたり、然るに韓半島全部に亘りて之を調査するには多くの日子を要するを以て當面の急需に應する能はず、茲に於て先づ京城龍山に在住せらるゝ日韓清英米佛獨其他の紳士全体を擧げ豫約方法によりて出版し以て世の急需に應ぜんとす、思ふに京城龍山は目下半島の中心なり、此中心の地に在つて經營の重任に當らるゝ紳士を最初に紹介するは將さに當を得たるものなりと信ず、而して掲載する紳士の部類は政治家軍人官公吏商業家工業家農業家醫師辯護士教育家宗教家新聞記者銀行會社教會寺院倶樂部組合等にして社會の各階級を網羅して漏す所なし、之を以て本書は公私の實務に執掌せらるゝ諸君には欠く可らざる要書なりと信ず、庶幾くは續々豫約御申込みあらん事を切望す、

明治四十二年三月

京城新報社

●大東共報發賣禁止　在浦鹽韓人經營に係る大東共報第二十四號及二十六號は治安に妨害するものと認められ内部大臣より其の發賣を禁止されたり

●實業學校と其新設　學部は實業教育の普及を計るため實業學校を設置する方針なる旨は屢々報道したる處なるが愈々近日實業學校令を制定して之れを發布すると同時に官立仁川日語學校及同釜山開城學校の二校を實業學校と爲すべしと因みに兩校の開始は韓國に於ける實業學校の嚆矢なりと云ふ

●度支部官吏の聘用　昨日の官報を以て度支部官吏を在官のまゝ釜山日本居留民團に聘傭し得る旨を公布されたり

●漁業出願狀況　漁業法發布以來の出願狀況を聞くに韓人側に於ても各地相競爭して出願者頗る多く毎日四五人に下らずといふ又日本人側にありては長崎、佐賀、福岡、大分、熊本、鹿兒島、山口、島根、廣島、岡山、鳥取、兵庫、愛媛、香川、德島、高知、三重、千葉石川、富山等二十餘縣の水産組合又は漁業團体其他個人漁業者等の多數漁業者は專ら出願準備を爲しつゝありて現時之等出願準備中のもの三百餘人に及び釜山の如きは出願人最も密集し水産組合の如きは殆んど應接に暇なき有樣なるに依り理事廳の如きも頗る多忙を極め居れる由現に釜山理事廳へ昨今願書の提出されたるもの已に四百件以上に及べりといふ此現狀より想察する此等日韓人漁業出願件數は少くも本年中に於て二万以上に及ぶべく四月中に提出せらるべきもの亦實に四五百件の多きに上るべし

●撫順炭の新販路　撫順炭は採掘高の增加と共に其販路は南滿方面にも及び漸次に本邦内地炭を壓せむとする形勢なるが哈爾賓の製粉會社及び發電所、ウォッカ酒、製造場に於ても此程來撫順炭を試用せしに其結果良好にして東清鐵道にても亦段々同炭を需要せむとの傾向ありて右製粉所其他の工場並に鐵道會社に於ける撫順炭に關する評判並に薪に對しての比較成績等を綜合すれば左の如きものあり

（一）粘氣少く從て使用の際勞力を省く
（二）繼火の際燃移り易く繼替を容易ならしめ且つ爐鑵の熱度を下降せしむること少し
（三）燃焼力十分なるが故に煤煙薄く不燃分の逃出少を以て危害少く烟突掃除に於て勞力を省く
（四）氣發分に富み火力強きを以て薪に比して其力强烈也
（五）石炭は薪の如くに貯藏面積の廣きを要せず
（六）灰分極めて少く且つ硫黄分を含有すること少きを以て汽罐に損傷を與ふるこ

左れば從來薪を專ら燃料用とせる哈爾賓を始じめ北滿洲に於て撫順炭の新販路は遠からずして著く擴張せらるべしと云ふ

●居留民團事情要覽　今般統監府地方部は居留民團事情要覽を發布したる由なるが其内容は明治四十一年四月一日の現況を基礎とし各居留民團の施設經營に係る教育、土木、衛生、警備、社寺等其他を記載せるものなり

●釜木間の郵便開始　釜山汽船株式會社經營の釜山木浦間航路は四月一日より航海の都度郵便物を搭載することゝなり其の郵便物受渡を爲す局所は釜山、馬山、統營、三千浦、麗水、欲知島、莞島、珍島、木浦、濟州、巨文島、入佐村の十二局所なりと云ふ

●櫻井丸の仁川入港　仁川税關の沿岸監視船櫻井丸は過日來西岸諸港を巡航中なりしが一昨日午後二時仁川港に入港したり

●光州新報の創刊　片岡柳軒氏は光州新報創立中なりしが愈々來十日其初號を發刊する由

●巡查募集員の出張　既報の如く鎌田内務警務局警部及中島巡査部長は熊本、廣島兩縣地方へ巡查募集の爲め五日出張せり

●五日仁川出入船舶　一昨日仁川に入港したる船舶は神代丸隅田川丸の二隻にして出港したるものは筑後川丸、共同丸、隅田川丸の三隻なりと

●德永大尉仁川寄港　仁川に一昨日午前十一時木浦より入港したる隅田川丸にて德永陸軍大尉上陸し同日午後三時大連に向け出帆の際北京公使館書記官松岡洋右氏は同船に乘船したり

●日清韓輸送連絡　鐵道院に於ては過般來鋭意海外との連絡輸送を計畫し曩に「トーマスクック」商會並に萬國寢臺會社をして乘車劵を發賣せしめ次で大阪商船會社と臺灣、大連、天津方面及び露國沿海洲との旅客並に手荷物の連絡輸送等を開き更に四月一日より韓國鐵道を經由して南滿洲鐵道と小荷物及び新聞雜誌の連絡輸送を開始したるが從來滿洲との交通は四日目毎に發着する汽船便に據りしを以て出帆後に發送せんとする荷物又は新聞紙は一週間以上を費すとありしも韓國鐵道を經由する連絡便に依れば毎日一回又は二回の往復を爲しつゝある下關、釜山間の連絡船にて韓滿鐵道と接續せしめ空しく途中に停滯することなく敏速に到着し得るが故に荷主の便宜非常に多く尚滿韓に於ける通關手續は荷主の依賴に依り總て鐵道に於て之を代辦し課税品あるときは其税金及び通關の爲め要する費用等は之を立替へ着驛に於て荷物と引替に荷受人より受領することとせしを以て一般の荷主は喜び居れりと

公人私人

▲渡邊大審院長　往復三十日間の豫定にて本朝東上す
▲國分檢事總長　同上
▲中村地方裁判所長　同上
▲平渡内部書記官　昨日午後歸任
▲齋藤警視　忠清江原兩道の警察署長會議に臨席すべく八九日頃出發する由
▲倉富法部次官　土屋事務官篠澤主事を從へ往復三十日間の豫定にて本朝東上の途に就く
▲指宿武吉（水原農林學校教授）　五日歸任
▲宮原忠正（同）　同上
▲宇都宮一（興業會社員）　同日水原に向ふ
▲野口多内（安東縣領事館員）　五日歸任
▲向坂幾三郎（水原勸業模範場技師）　五日歸任
▲武川盛次（第一銀行員）　五日入京巴城館

近事片々

▲纛島　園藝模範場の樹園は近頃目切春めき樹木の蕾將さに綻び雛て百花咲競はんとす
▲水原　の春色亦長閑桃李櫻は將さに咲き出でんとす滿城の士女を擧て花信を待つ
▲纛島　水原は何れも漢城士女の好き行樂地ぞかし花には早けれど花信を探るも可也
▲大同　江沿岸に於ける清國人の密漁は今尚盛也と聞く何とか取締る方法はなき者乎
▲清國　漁業者の密漁は從來より公然の秘密たる觀あり何時迄も現狀の儘捨置は不可
▲東拓　會社の評判は漸次面黑くなく祖國にまで其聲高し重役諸氏大に戒愼せよかし
▲創業　の始めよりして社中に派を立てゝ互に相排擠するが如きは甚だ以て不都合也
▲總裁　派副總裁派と旗色を異にして互に缺處を許くが如きは眞に唾棄すべき事なり
▲加之　驛屯土を法外の價にて引受けたるが如き失態あり今に於て大に戒飾を要す也
▲完用　内閣も一進會の鎮撫には随分頭を惱まし居る樣子也爲に世評紛々として起る
▲宋氏　を太子少師に祭り込むの策や種々手を盡し居るも一進會の咆哮は尚止まず矣
▲是が　爲に總理邸に閣臣秘密會議を開きたりとか何とか種々の噂は百出す前途如何
▲伊藤　公も之が爲に來月初旬歸任する也との説まで持上る僣も面倒の世の中ぞかし
▲斯く　までにして維持に苦心するよりも思ひ切て内閣明渡しを斷行するを可となす
▲完用　君何ぞ得意の英斷を施さゞるや暫らく退隱して捲土重來を策するの意なきや
▲一度　局面を展回して人心を新にするは此際必要也人心倦めば國民の元氣沮喪せむ
▲完用　君如何に懷柔策を取るも人心倦まば之を回復する事容易ならず大に悟れかし
▲微風　だもなき好日和は暴風雨の來る前兆也ど天下も餘りに無事太平は却て不可也
▲政治　家は此機徴を察せざる可らず曾禰副統監は今何事を考へつゝありや聞きたし
▲ルー　ズベルト氏亞弗利遠征にウォールド新聞通信員二名窃に隨行して氏を驚かす
▲ル氏　の狩獵記はスクリプナー雜誌にのみ掲る契約あり爲に二通信員の微行に驚く
▲ル氏　通信員を威赫して途中に振りまくと云ふも更に效なし是れ懂に新聞の成功也

●閉鎖後の浦港狀況　自由港閉鎖後の浦港は[illegible]ため罰を受けたる入港船も尠からざる有樣にて渡航者の着換用衣服にても新調は脱税品として取扱はるゝのみならず敦賀方面より船員が在浦港の知已に托送さるゝもの迄も總て[illegible]換として持参せるため物議の種を蒔し程にて渡航者は勿論貨主も注意して違反なき樣なさゞれば非常の迷惑を受け延て取扱船までが處分を受くることとなるべしといふ目下當事者間の問題となり居る[illegible]梅田の某運送店の托送品中閉鎖前に着港すべき豫定にて積出したるに敦賀の取扱店の不注意より閉鎖後に入港するに至り其結果多大の罰金を徴收せらるゝ事となりしかば[illegible]ざるより往復の運賃及び本邦にて賣却の差損額を受托運送店にて支辨すべしとの問題を生じ[illegible]中なるが同港への出貨主は勿論[illegible]

●天氣豫報（自六日午後六時至七日午後六時）
西の風晴
五日 最高溫度（華氏）六八、七 最低溫度 四一、七
本日午前六時韓國氣象概況
昨日支那東海にありし低氣壓は今朝日本海に向て進行しつゝあり[illegible]

●閉鎖後の浦港狀況

自由港閉鎖後の浦鹽は[illegible]罰を受けたる入港船も尠からざる有樣にて渡航者の着換用衣服にても新聞は脫税品と取扱はるゝのみならず敦賀方面より船員が在浦港の知己に托送さるゝもの迄も總て嚴重なる[illegible]を受け現に新聞の[illegible]換として持參せるため物議の種を蒔し程にて渡航者は勿論貨主も注意して違反なき樣なさゞれば非常の迷惑を受け延て取扱船までが處分を受くることとなるべしといふ目[illegible]梅田の某運送店の托送品中閉鎖前に着港すべき豫定にて積出したるに敦賀の取扱店の不注意より閉鎖後に入港するに至り其結果多大の罰金を徵收せらるゝ事となりしが[illegible]んとするに非常の損失を來たさゞるべからざるより往復の運賃及び本邦にて賣却の差損額を受托運送店にて支辨すべしとの問題を生じ悶着中なるが同港への出貨主は勿論[illegible]べし

雜報

●囚はれたる婦人（二）

▲虛榮心の權化

▲戀神の征矢に胸板深く射貫かれたるれくには折柄の海水浴客の當時某中學に教鞭を執りつゝありしてふ陶山某となん呼ぶ助教諭殿に弄ばされて蜜より甘き初戀の香に行衛も知らず醉ひたりしが唯だこれ幻の春の夜の夢醒め果てゝは眼も眩むばかりに射貫かれたる疵の痕の痛さに堪へず今更男程情冷酷なるものはあらじと悟りても後の祭の一旦汚されたる女の身は何と詮術もあらざればヱヽ儘よと自棄が手傳ふ惡鬼羅刹の我れと我身を墮落の淵に沈めたるこそ返へす〴〵も哀れなる次第なれ、斯くて彼女は間もなく▲國元を出奔して親の嘆きも何のその一度び轉び出でたる玉の又たせん術もなきが如く廣島、岡山など浮かれ歩るくうち何時しか惡漢の術中に陷り轉々して釜山へ渡りしは一昨年師走も暮れの二十幾日なりしとかや、さても其後は言はでも知るき誤娼賣に浮身を窶して釜山大邱と巢を喰ひ渡り有象無象の輩を相手に力の限り荒れ廻り居りしが、浮草や今日は對ふの岸に咲く何時しか京城に轉賣され（町名屋號は逸したれど）さる曖昧屋に住み込しは、これぞ氏なうして乘る玉の輿の又なき幸運を得る端緒なりけり

●韓童仇を討つ

▲實父の怨を晴らす

忠安南道新溪郡金坊室洞居住の金鴻奎（五十）は去る三月十七日所要ありて居村の附近なる[illegible]市と稱する處へ行きたる折柄同洞村の金寛植（五十）なるもの其場へ來合せたるを以て相識の間柄とて互に打ち連れ立ちて最寄りの飲食店へ行き酌みつ差されつ濁酒を鱈腹呑んだ揚句は例の饒舌多き韓人共のことゝて一場の口論を惹き起し双方敗けず劣らず爭ひ居たるを仲裁する者ありて其場は圓く修まり兩人共連れ立て歸途に就きたるが話し轉じて金鴻奎の妻子は金の歸りを待てども〳〵歸來せざるに不其夜は其まゝ寢に就きたるが翌朝となつても歸さへ見せざれば妻子の心配一方ならず殊に孝心深き質子金興文（三十）は氣も殆んど狂亂せんばかりに痛心し此處彼處と心當りを探し廻り居たる處へ金鴻奎は惡漢の爲め無慘の最後を遂げたりとの通知に接し妻子は驚倒せんばかりに打ち驚きつゝ息急き喘ぎ切つて驅け附け見ればこはそも如何に金鴻奎は前頭部を粉微塵に粉碎し見るも哀れな悲慘の死態なるより金興文母子は人目の羞もあらばこそ殪れ居る金の死体に取り縋り慟哭する態は哀れと云ふも愚かなりしとさても飛報に接したる新溪郡巡査駐在所よりは日韓巡査數名遽急現場へ驅附被害者の檢視を了へて死体は泣き叫ぶ家人に引渡し一方加害者の搜索に着手したるが茲に最も怪しむべきは前記飲食店に於て爭論したる金寛植に目星を附け引致して嚴重に取り調べたる處遂に包みきれずして石片を以て殺害したることを自白したるにぞ直ちに縛りて韓人家屋へ繫ぎおきたるが之れを傳へ知りたる金興文母子は孝心深き丈け一層復讐の念強く今は一刻も猶豫ならずと即ち金興文は實父金の殺害に使用したると云ふ石片を持ち妻某は炊事用の庖丁を携へ縛繫して動きのとれぬ金寛植に向ひ實父の仇思ひ知れと携へたる兇器にて所を擇ばず無茶苦茶に打擲して死に至らしめ金興文は其のまゝ新溪郡巡査駐在所へ自首したりとは近頃聞くも悲慘なる出來ごとゝ云ふべし

●飛んだ人騷がせ

一昨五日午後八時頃本町一丁目の方より人殺し〳〵と大聲を揚げつゝ驅け來る二人の男あるより折柄見張中の警官は直ちに同人を追跡して本町一丁目裏浪花亭前にて取押さへ取調べたる處此者等は明治町三丁目六番戸西畑久吉（三十）花園町二丁七番戸工藤兩作（二十）といふものにて工藤は曾つて開城にある際西畑と面識あり昨夜過然郵便局前にて邂逅したるを以て挨拶を爲したるに稍々酩酊氣味の西畑は是非共今夜工藤の家に到ると稱して聽かざるのみか同伴者の他一名と共に腕力を以て工藤に迫らんとするより工藤は已むなく一尺余の白鞘のナイフを懷中より出して之を威し其儘逃走したるを西畑外一名が追跡したるものなること判明し双方將來を戒めて放還せられたり

●請負師の詐欺

所謂請負師なる看板を掲げ一見詐欺的行爲ある輩が至る處に跋扈する事は吾人の屢々耳にする處なるが茲に當地旭町一丁目に居住せる佐々木又三郎と云へるは同じ請負師なる若草町一丁目渡邊安次郎より度支部の拂下金を抵當として去月三四日頃金二十五圓を借入れしにも度支部の拂下金は其儘己れが懷に納めたるのみか期日經過するも更に借金の返却を爲さゞるにぞ安次郎は大に怒り一昨日又三郎を相手取り詐欺取財の告訴を爲したりと

●違警罪一束

旭町一丁目百二十三番戸豆腐行商平岩鹿太郎（七十）新町三丁目十六番戸車夫永峯春吉（二十）南山町二丁目六十五番戸雜貨商中尾菊太郎（二十）日の出町九番戸足袋商松本方雇人袰庄吉（十八）の四人は街路に放尿して科料金各三十錢に處せられ本町七丁目車夫西村彌次郎（三十）は泥醉して街路に徘徊し科料金五十錢に處せられ明治町二丁目百十三番地疊職田中淺次郎（三十）は三歲の小兒を電車路に放步せしめてこれまた科料金五十錢に處せられたり

●韓妓の投身

仁川龍岡町韓人遊廓内李宜秀方抱への韓妓植花（十八）と云ふは一昨夕同町の共同井戸に投身して溺死を遂げたるが其の原因は死人に口なく聞くに由なきも同人は平素の素行より察するに多分憂き勤めの厭やさに一層死んだが増しと思ひ投身せしならんと

●山中に死体を捨つ

仁川署管內沔川郡竹林面百石里九節山に附近の村民伐木に登りたる所同山中にて年の頃二十五六の韓人の縊死したるものを土中に埋沒しあるを發見したりと而して其の人相及び服裝より察すれば京城若しくは仁川邊の紳商らしきより目下取調中なりと

●無錢飲食

仁川本町四丁目東京堂に以前雇はれ居たる太田德太郎と云ふは一昨夜同地京町二丁目飲食店朝日亭に登樓し一圓五十錢の飲食しいざ勘定となるや同家を飛び出し一目散に逃げ去りたりと

●本日の公判

▲民事 株式會社京城水產物市場對福地榮外一名の賣掛代金請求事件の公判午前十時より開廷▲刑事 石津春吉竊盜逃走未遂、伊藤志波藏殺人未遂武生次郎賭博事件等午前十時より開廷

●朝鮮四月號

口繪には「京城民團に於ける公職員」「韓國の農家」「龍山に於ける陸軍紀念祭」の寫眞版を掲げ內容は依例「時事評論」「論說」「研究」「富源」「訪問錄」「主張」「人物評論」「文藝」「雜纂」等にして各欄共何れも活氣を帶び趣味と實益とを兼ね備へり就中「時事評論」「訪問錄」「人物論評」は主筆釋尾旭邦氏の筆に成るもの叙說巉峭評論大膽確に肯綮を穿ち肺腑を突いて餘蘊なしさいふべし（三卷二號廿五錢京城本町九丁目朝鮮雜誌社）

●菅醫院の移轉

西小門內なる同院は度支部裏門脇へ移轉し一層業務を擴張して患者の便宜を計るべしと云ふ

●演藝

▲壽座 本日の替狂言藝題は伊原靑々園作夫さだめ全十幕にして場割及役割は左の如し

▲場割▲ （一）松島五大堂附近海岸（二）知事宮脇則武應接室（三）玉木篤子居間（四）岸田文學士住居（五）櫻ヶ岡遊園地（六）待合常盤樓（七）同樓庭前（八）谷口東作宅（九）宮城タイムス社（十）同社玄關前（十一）吉野屋裏二階（十二）淸原知彥住居（十三）靑根溫泉山中の月

▲役割▲ 岸田文學士（西）宮脇知事（甲東）新聞記者日下萍花（池田）藝妓美代吉（東作）母（日東）玉木篤子（上田）淸原知彥（沖野）池尻勝彌（三輪）

●韓語獨習

日語	韓語
菊花が、只今盛りです	クークファーカー、シバン、ムンチヨンピーヨッソ
庭に出て、花をも御覽なさいませ	フウオンエイナカ、コッチツナ、クーキヨンハシヨ
蘭が一番香氣が、宜いです	ナンチヨーガー、チエーイル、ヒヤンナイガチヨッソ
私は梅花が一番好きです	ナーヌン、マイフアーガー、チエーイル、チヨッソ

平民文庫

▲太平湯の番臺に出て居る女が不愛想であると云ふのは事實だ尤も湯に這入りに行くのであるから世辭を言はうと云ふまいと敢て深く咎むべきではないが然りとて餘りでは御自分の方が損なるべしと云ふこと（唸爭子）▲私は如何なる婦人を妻に欲するかと云ふ一投書家に申上げる、私は少しは馬鹿でもよいが浮氣でなく眞實私に惚れて呉れて私の兩親に柔順なるものならば文字の素養の有無の如きは問はぬ況んや其美醜をや只持參金が十萬圓あつても夫婦差し向ひを望む樣な奴は御免だ人間に親や兄弟のないものがあるものかやないですもの（一青年）▲飽食せるものは空腹のもの〻苦痛に同情する資格がないよ（空腹男子）▲君の空腹と云ふのはパンのか精神上のか夫れを承はりたいよ（小僧）▲歌留多大會を催して下さいな（橫好女）▲僕は此の以前にも云つたが柴賣の取り締りが實に峻酷である其營業を認めて居るのなら些し手加減が必要だと思ふ（大江山）▲各官廳の豫算と云ふものは必ず費消して終はなければならんものですか剩餘金として積んで置くと云ふ樣なことは出來ませんのですか不足の時は追加とか特別とかと請求し剩れば濫費する不都合ではないのか（沒分曉漢）▲午砲がよく聞えないので困る（困却男）▲昨日の寒さと云つたら何うだ開きかけた花も引つ込み止まり掛つた鼻汁は垂れる鼻花困つたことだ（牛乳配達）▲エヽ古い洒落だ（給仕）▲私は或る宅の女中さんに戀して居るが死ても叶はぬ戀らしいから何うかして忘れたいと思ひますが何うしても忘れられぬで困つて居ます宜い方法はないものでしょうか（たかつき）

天氣豫報（自六日午後六時 至七日午後六時）

西の風晴

五日 最高溫度（華氏）六八、七 最低溫度 四一、七

本日午前六時韓國氣象槪況

昨日支那東海にありし低氣壓は今朝日本海に向て進行しつゝあるを以て[illegible]吹き概ね雨天なり

用燃料 新德 無烟煉炭
特色 火付善く火力耐久價格低廉
用途 煖爐、暖爐、竈用に適す
周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城南部領事館通 電話六〇三番 巴商會
韓國一手販賣 京城本町二丁目 神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

求妻 友人血統正、高等教育あり、實業家下二十四、財產七千圓あり、三十四以下二十三以上の不幸淑女を求む、寫真交換防けなし(花柳界に關係なき者) 姓名在社(二二一)

雇被 たし女年四十內地の田舍にあり讀書れば直に來る保證人あり 氏名在社(二二五)

物件部

白毛に淡玉子色の斑(去年八月生)名次郞口側及四足毛拔け居る小犬見當りし人は御一報願上候相當御禮可仕候 明治町二の七五 辨護士岩田(二二〇)

電話貸したし 氏名在社(二二三)

電話買りたし 氏名在社(二二四)

自轉車一臺買受たし 氏名在社(二二二)

廣告

人蔘羊羹
特色 滋養に富む○永く變味せず○味頗る美
小箱 金五十五錢
大箱 金八十錢
京城本町三丁目 龜屋 電話二七番
京城本町二丁目 龜屋 電話八二七番

電話開通 九九〇
京城大和町二丁目 靑雲亭

電話開通九二三番
旭町四丁目 森安洋家具工場

電話開通 九百四番 千六十八番

蜂印香竄葡萄酒
本品は其質醇良にて營養分に富み日常の飲料として身體を强壯にし顏色を增し衛生に元氣に補益有る

FRAGRANT WINE
Manufactured by D. KAMIYA
SOLE AGENT R. KONDO

京城南大門通三丁目 新井藥房本店

商品目錄呈上仕候
次第進呈仕候 御申越
醬油酒 家用 … 商店

電話開通九三八番
京城南山町四丁目 花月樓筋向ふ
作野香淸園茶舖

電話開通 千五十番
京城本町一丁目(民團役所前) 增本好三郞事務所

電話開通 一〇七六番 月の家
京城本町五丁目

電話開通 九六九番
疊替 新調 表
京城壽町三丁目(壽座前) 橫井疊店

電話開通 一〇四二 牛豚雞肉
京城明治町二丁目 石田精肉店

石炭直輸入卸小賣
●精撰塊炭 ●上等塊炭(海軍御用炭)
●荒塊炭 ●切込炭(鐵道御用炭)
弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候
赤阪口福母炭坑賣炭部
韓國京城南大門西側(電話長八二九番)
合資會社 長醫商會韓國出張所
合名會社 範多商會韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店
仁川濱町一丁目(電話長八三二番)
合資會社 長醫商會仁川出張所

明治廿年創立資本金一千萬圓
東京火災保險株式會社
日本國火災保險業の嚆矢
代辨店 山口吳服店
事務所 京城本町二の三電話九番

◉元祖歐米風寫生◉
造花
盛籠 技物 時々流行 束子 簪類
製造 販賣
廣く御注文に應じ確實廉價製造販賣仕候間御用命被仰付度伏て奉懇願候
流行に魁け嶄新なる寫生的造花製造 三越吳服店工場
日本東京市淺草區三好町(東京振替口座九六九五番)
萬屋 田中金之助商店

一金口貴空箱買入れ申候
●廢物利用●
但百本入に限る
上等金口 トルコ發賣所
京城本町四丁目 パ子リス商會

精良石油賣出廣告
旗票石油は
光力强度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり

RISING SUN PETROLEUM COMPANY LIMITED
TRADE MARK
ALLIANCE
BEST
REFINED PETROLEUM

各位愈々御繁榮奉大慶候陳者本社は一般弊社石油を輸入し精々廉價に販賣致し居候試みに精々御購求の程偏に奉願候旗票と稱する最上等 敬白
ライジングサン石油株式會社
韓國出張所

特約販賣店
仁川本町四丁目 仁川英油組合
仁川海岸町二丁目 釜山英油組合
釜山本町二丁目
京城本町三丁目 京城英油組合

特約販賣 自製
大上商店
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目(電話二五一番)
和洋酒、精酎、穀物、麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

御料理、山遊折詰
すし、うなぎ
春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれは皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御贔負の程願上り候
明治町一丁目 松善

純良 乳 牛乳元祖
京城大和町一丁目 平山牧場 電話百二十三番

▲淸潔の下宿▼
客室の淸潔ご調理の美味ご御扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十一番戶橫小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼ かめ屋

淸酒 醇良 澤龜
大阪府堺市 合名會社宅醸

登記漢城府手續 諸願屆代書 土地鑛山測量 集金取立代辨 土地家屋賣買其他 金錢貸借諸般ノ仲介
京城本町一丁目 民役所前 岡田事務所 電話七〇五番

日本郵船株式會社
仁川 瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番 電話十番

●大連行(船客御斷)
新潟丸 日正午時出
●釜山長崎門司神戶行
山東丸 四月十一日後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 四月廿二日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸 月 日前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 四月八日正午出
●釜山出帆、元山、淸津、浦潮行
立神丸 四月七日午後
御注意 御乘船ノ際ハ船客減少ノ場合ニハ本船出帆ノ約五十分前ニ歸還セラレ可申候也

●新聞料 一ヶ月前金貳圓 △三ヶ月 △六ヶ月前金 △一ヶ年
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢 △廣告五號活字十九字詰一行 …
發行兼編輯人 秋山起三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門町 京城新報社 電話六六三番